

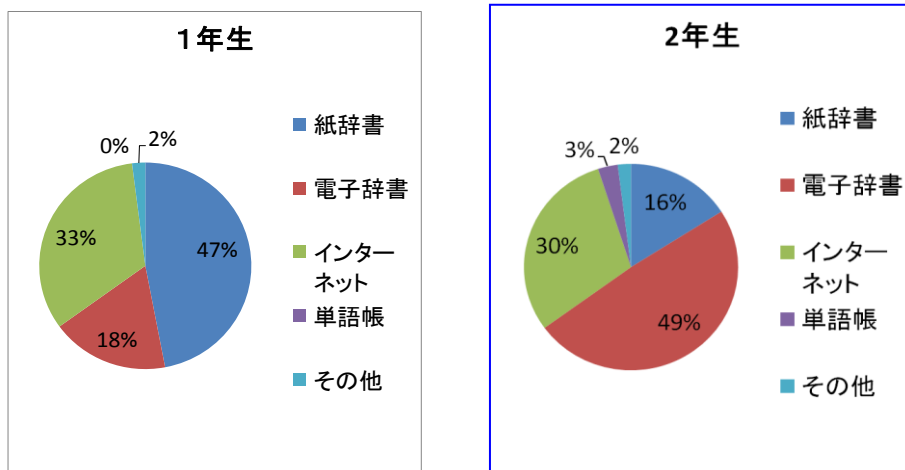
本当に使えるのは！？紙辞書 VS 電子辞書

1. はじめに

英語を勉強する際に紙辞書を用いる人と電子辞書を用いる人がいる。より効率よく勉強するにはどちらの辞書を使うのがよいのか、それぞれの長所と短所を知りたいと思い、調査を行った。また紙辞書と電子辞書を調べうまく使い分ける方法を調査した。

2. 調査の内容

- ① まず、現状を知るために高津高校の文理学科の生徒約160人を対象に普段どの辞書を使用しているかを調査した。1年生は47%の生徒が紙辞書を使用しており、2年生は49%が電子辞書を使用していた。しかし、1年生は学校で指定されているので使っているだけで、進んで使用しているわけではないと分かった。



- ② また英語科の先生方にも同様の調査を行い、加えて生徒に薦める辞書の種類も尋ねた。先生方は、紙辞書と電子辞書を場合によって使い分ける先生が大半であった。また、生徒に勧めるのは、紙辞書を勧める先生と両方を勧める先生が半数ずつであった。それぞれに良さがあるので使い分けるのがよいというのが先生方の考えだと分かった。
- ③ どちらの辞書のほうが早く調べられるのかを知るために実験1を行った。

実験1 英単語を20問ずつ書いた問題用紙を2枚配布し、それぞれ紙辞書と電子辞書を用いて単語の意味を調べてもらった。1枚につき3分間でどれだけ多く回答できるかを調べた。また、普段使っている辞書も解答してもらい、間違った個数との関係性についても調査した。調査対象は1年生11人、2年生22人である。

	紙辞書	電子辞書
1年生	4.6個	6.63個
2年生	3.81個	10.25個

- ④ どちらの辞書を使用すれば、時間が経過した際に、より記憶に残っているかを調べるために実験2を行った。

実験2 単語やイディオムを穴埋めにした10個の英語の短文を、5個は紙辞書、5個は電子辞書で日本語の意味を調べてもらった。期間をあけて辞書を用いずに再び解答してもらい、紙辞書と電子辞書どちらで調べたほうが単語の定着力が良いのかを調べた。実験対象は13人である。

3. 仮説

実験1 単語を入力するとすぐに検索ができるため電子辞書を用いたほうがより早く多くの単語を調べられる。また、普段使い慣れている辞書を使うほうが間違いが少ない。

実験2 実験1の結果から、探すのに手間と時間がかかる紙辞書のほうが定着率はよい。

4. 結果

実験1 1年生は紙辞書で平均4.6個、電子辞書で平均6.63個調べることができた。一方、2年生は紙辞書で3.81個、電子辞書で平均10.25個という結果になった。この調査では1年生も2年生も電子辞書のほうが制限時間内により多くの単語を調べることができた。しかし、普段多くの生徒が紙辞書を使用している1年生のほうが紙辞書で答えられた個数が明らかに多かったので、調べられた個数は使い慣れている辞書と関係があることが分かった。普段使っている辞書との関係性では、普段使っている辞書を使っても間違える人が多くみられ、普段使用している辞書への慣れの程度と単語の意味の回答の間違いの個数に関係性は見られなかった。

実験2 2度目の調査で覚えていた単語を1個1点として点数化したところ、紙辞書で調べた平均点は3点、電子辞書では平均2.92点だった。よって定着率に大きな差は見られなかった。紙辞書と電子辞書では学習効果の差はないと分かった。

5. 考察

今回の調査では電子辞書は紙辞書の間学習効果の差を見つけることができなかった。そのため、どちらが優れているというわけではなく、状況にあった辞書を使うべきであると考え。また、被験者の人数が少なかったので正しい結果を得られたとはいえないことが課題であった。辞書を用いる目的は正しい情報を得ることである。先生方が現状調査で回答していらっしゃったように目的や状況に応じて辞書を使い分けることが英語の学習に役立つのではないかと。音声を聞きたい時やカラーの図を見たい時、手軽に調べたい時は電子辞書を、全体を斜め読みで見たい時は紙辞書を使うなど用途に合った使い方をすることが大切だ。さらに、辞書を使うことを面倒臭がらずに辞書に慣れ、自分に合った辞書を見つけることが大切である。